

申請者の現状(基本情報) (別紙1)

作成日	令和7年〇月〇日	相談支援事業者名	相談室〇〇	計画作成担当者	〇〇〇〇
-----	----------	----------	-------	---------	------

1. 概要(支援経過・現状と課題等)

1歳半健診でことばの遅れの指摘があり、さっぽろ・こども広場を2歳まで利用していた。さっぽろ・こども広場においても、保健師から児童発達支援の利用を勧められたものの、「成長には個人差もある」との思いから利用に至らず、現在、プレ幼稚園に週1回の頻度で通っている。

3歳になった頃から、家で保護者の髪を引っ張る、物を投げる、ひっくり返って頭を床に打ち付ける、外出先(特に新しいところ)で知らない人をたたく行為が現れた。このほか、公園で、遊具ではなく、自転車に関心を示し、車体の数字を眺める様子、タイヤの向きをそろえられず泣いている様子等を他の保護者から心配されることもあった。

母は、家での行為は我慢できたものの、外へ連れ出すことに不安を抱くようになった。そこで、3歳児時健診時に保健師に相談したところ、ことばの遅れと発達の偏りを指摘され、医療機関の受診勧奨があった。医療機関を父母同伴で受診し、自閉スペクトラム症及び知的障がいの診断を受けた。母はショックを受けたものの、主治医から児童発達支援の利用を勧められ、相談室の利用に至った。サービス利用に当たっては、複数の事業所を見学しており、家族支援も含めて週3回の親子通所を希望している。

母は、Aに対する願いとして、「友達と言葉でコミュニケーションをとれるようになってほしい」と話している。また、幼稚園児の姉は、これまでしっかり者でAの面倒見も良かったが、姉が延長保育を利用した際、「延長は嫌だ」と泣き出すことがあったことから、母は、Aのサービス利用で生じる姉への影響についても不安を抱えている。母は、「Aの発達にしっかり向き合いたい気持ちもあるが、姉に寂しい思いをさせたくない。父と協力し合い、専門的なサポートを受けながら、子育てをしていきたい」と話している。

2. 利用者の状況

氏名	児童A	性別	男	生年月日	令和3年〇月〇日	年齢	3歳	電話又はFAX番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
----	-----	----	---	------	----------	----	----	-----------	--------------

住所	札幌市〇〇区	持家・借家・グループホーム・入所施設・医療機関・その他()
----	--------	--------------------------------

障害または疾患名	自閉スペクトラム症・知的障がい	障害者手帳(種別・等級)	なし	援護地		障害支援区分	
----------	-----------------	--------------	----	-----	--	--------	--

経済状況	(収入)	保護者の所得	(年金)	(手当)	児童手当
------	------	--------	------	------	------

保護者または緊急連絡先	(氏名)児童A母	(続柄)母	(電話番号)〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
-------------	----------	-------	--------------------

家族構成 ※年齢、職業、主たる介護者等を記入

社会関係図 ※本人と関わりを持つ機関・人物等(役割)

生活歴 ※受診歴等含む	医療の状況 ※受診科目、頻度、主治医、疾患名、服薬状況等
<p>【周産期】40週5日通常分娩で出産。体重3200g身長51cm頭囲35cm</p> <p>【発達歴】首のすわり、寝返り：3か月 座位、四つ這い、つかまり立ち：6か月 独歩：10か月 後追い：9か月 人見知りあり 指さし：1歳3か月 始語：2歳11か月</p> <p>【生活歴】0歳 札幌市〇〇区で出生</p> <p>1歳半 健診で言葉の遅れの指摘される</p> <p>2歳 さっぽろ・こども広場利用開始(～3歳0か月まで)</p> <p>3歳 プレ幼稚園の利用を開始 医療機関を受診、相談室の利用を開始</p>	<p>・〇〇クリニック (発達相談)</p> <p>健康保険()</p>

本人の主訴(意向・希望)	家族の主訴(意向・希望)
<p>(保護者から普段の様子、育ちのエピソード等を聞き取り、相談員が推測)</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きなブロックや電車のおもちゃでもっとたくさん遊びたい 数字や動物の名前を言いたい 知らないところでは、友達をたたいてしまうけど、関わりたい お母さんに伝えたいことや、やってほしいことがたくさんある 	<ul style="list-style-type: none"> おしゃべりができるようになってほしい 友達と言葉でコミュニケーションをとれるようになってほしい 出かけたときに人をたたくのをやめてほしい できれば家で髪を引っ張ったり、頭を床にぶつけるのもやめてほしい Aの障がいのこと、関わり方を知りたい

3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考(担当者・連絡先)
公的支援(障がい福祉サービス等)	相談支援事業	相談室〇〇	利用計画作成、モニタリング、事業所調整	随時	
	保健センター	保健師	育児相談	随時	
その他の支援	幼児教育	〇〇幼稚園	小集団支援	週1回	
		〇〇クリニック		不定期	

ADL等 基本情報シート

氏名 児童A (3歳)

日常生活	食事	普通食。食が細く食べられるものに偏りがある。緑の野菜は苦手。スプーンフォークを使用。手に何かつくとすぐに拭きたがる。
	排泄	排尿は自立。排便のみオムツ。
	身の回り	衣類の着脱は見守り又は一部手伝い（ボタン、ファスナー等）が必要。
発達	運動機能	<p>【粗大運動】 体を使ったあそびには消極的。しゃがんでいることや、寝転がることが多い。</p> <p>【微細運動】 物を並べることを好むが、小さな物は不得手。片付けは得意だが、思いどおりにならないと怒り、ひっくり返すことがある。数字を書くこともあるが、ペンの持ち方は定まらない。</p>
	知能	<p>【記憶、理解】 「ダメ」、「バイバイ」、「おしまい」、「おいで」、「ちょうだい」など、簡単な指示は理解できる。</p> <p>【話す、読み書き】 数字や、動物の名前など興味のある物に対して覚えるのが早い。2語文なし。</p>
	社会性	<p>【コミュニケーション】 言葉は少ない。 思いどおりにならない状況では、泣く、大人の髪を引っ張る、物を投げるほか、床に頭を打ちつけることがある。</p>
		<p>【対人関係】 新しい場所や人に対して緊張しやすく、知らない人をたたきに行くことがある。</p> <p>【集団生活、ルール、マナーなど】 集団より一人で過ごすことが多い。集団活動でのルールの理解は難しい。場面の切り替えに時間がかかる。</p>

健康管理	服薬	なし
	視力・聴力	なし
	睡眠状況	なし
	アレルギー	なし
	補装具・自助具	なし

発達や学力の検査結果等	<p>【新版K式発達検査】</p> <p>生活年齢：3歳5か月</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発達年齢</th> <th>DQ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>姿勢・運動</td> <td>3歳1か月</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>認知・適応</td> <td>1歳6か月</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>言語・社会</td> <td>0歳10か月</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>全領域</td> <td>1歳6か月</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>認知・適応領域と言語・社会領域 DQ値平均 35</p>		発達年齢	DQ	姿勢・運動	3歳1か月	90	認知・適応	1歳6か月	44	言語・社会	0歳10か月	25	全領域	1歳6か月	44
		発達年齢	DQ													
姿勢・運動	3歳1か月	90														
認知・適応	1歳6か月	44														
言語・社会	0歳10か月	25														
全領域	1歳6か月	44														
IADL	該当項目なし															
家族	<p>公務員の父、専業主婦の母、姉との4人暮らし。</p> <p>【父】 平日は仕事で忙しく、本人と接する時間が少ない。休日は遊びに連れて行くことや、家事をすることもある。</p> <p>【母】 専業主婦。おっとりとした性格。</p> <p>【姉】 しっかり者で、頑張り屋。母の手伝いのほか、本人の面倒をよくみってくれる。</p> <p>【両親の祖父母】 ともに本人の特性等に関する理解があるものの、遠方のため、帰省時のみしか会えていない。</p>															

事業所見学時の様子

実施日：令和7年〇月〇日

見学者（児童）	児童A
見学者（保護者）	児童A母

【本人の様子】

- ①見学開始後間もなくは母の側にいたが、その後、周囲の大人や子どもをたたこうと近づいていた。
- ②職員から好きな動物の絵本やおもちゃで遊ぼうと誘われ、遊び始めた。
- ③周りを見渡し始めたので、今日の予定を掲示しているホワイトボードを示し説明したところ、スケジュール、写真、絵カード等を見て、知っている数字を読んでいた。
- ④紙あそびに体験的に参加した。紙あそびでは、チラシの数字を探す、紙吹雪で落ちてくる紙を触りに行く、落ちた紙を拾って集めるなど、本人のペースで楽しんでいた。
- ⑤活動後、片付けを促したところ、「ノー」と言いながらおもちゃを投げ、母の髪を引っ張り、泣いてしまった。
- ⑥数字の紙芝居がはじまると、泣き止み、知っている数字を読んでいた。

【母の様子】

・紙あそびの最中、母は、他の保護者から、他の子どもの利用開始当初の様子、その後の経過などの話を聞いた。母は、「通うことに不安はあったが、もっとAのことを知りたいと思う。通っているお母さんたちと話せたので、これから楽しみ」と話していた。

・母は、父から「Aは男の子だし、こんなもの」、「言葉も出ているのに、幼稚園以外のところに行く必要があるのか」など、サービスの利用について後ろ向きなことを言われたほか、「訓練をすれば、普通の学校に行けるんだろう」とも言われたようで、父のAに対する理解について、不安を感じている様子だった。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画(計画様式2-1)

				作成日	令和7年○月○日	利用者同意署名欄	○○○○
利用者氏名	児童A 様	障害支援区分	○○	利用者負担上限額	○○○ 円	相談支援事業者名	相談室○○
受給者番号	○○○○○		計画作成担当者名		○○○○	電話	○○○-○○○-○○○

◎サービス担当者会議(会議を開催していない場合は、専門的意見を聴取した事業者名称と担当者名を記入します)

会議実施日	令和○年○月○日						
会議出席者	事業者等名称			○○幼稚園	児童発達支援事業所○○		
	担当者名	母	○○○○	○○○○			

◎生活に対する意向、援助方針

利用者及びその家族の生活に対する意向	(本人) 好きなブロックや電車のおもちゃでたくさん遊びたいし、数字や動物の名前を言いたい。 初めての場所や人は、どうしたらいいかわからなくてたいてしまう。 (保護者) おしゃべりができるようになってほしい。友達と言葉でコミュニケーションをとれるようになってほしい。						
総合的な援助の方針	Aさんは、初めての場所や人、場面の切り替えなどが苦手で、思い通りにならない時は、言葉以外の方法で伝えることが多いです。 保護者は、Aさんの苦手なことや得意なことをよく理解したいと思っていることから、児童発達支援を利用することで、Aさんへの理解を深め、具体的な関わり方を学ぶ機会を得られるようにします。また、姉に関する心配事も解消できるよう、アドバイスを多角的にもらえるような環境を整え、子育てを不安なく進められるようお父さん含めて後押しします。						
長期目標	(本人) 集団活動に参加できるようになり、表現手段が増えていく。 (保護者) Aさんの育ちの特徴を理解し、声掛けや関わり方などの基本が理解できるようになる。						
短期目標	(親子通所の場合) 親子で児童発達支援を利用し、活動の流れや支援者、利用している親子に慣れて、活動に参加できるようになる。 (単独通所の場合) Aさんは、日々の活動の流れを理解し、楽しんで通うことができる。保護者は、事業所とAさんの様子を共有し、理解を深めていく。						

◎モニタリング予定月

		支給期間						令和 7年 ○月 ○日 ~ 令和 8年 ○月 ○日					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和	年度	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
令和	年度	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
令和	年度	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
令和	年度	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

区保健福祉部受理日	令和7年○月○日	福祉支援 保健支援 担当者	○○
-----------	----------	------------------	----

サービス等利用計画・障害児支援利用計画(計画様式2-2)

◎解決すべき課題、提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期など

優先順位	解決すべき課題・本人のニーズ	支援目標	達成時期	福祉サービス等の種類、内容、量	提供事業者名 (担当者名・電話)	課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	(Aさん) 自分の気持ちや要求を伝えたい、わかってほしい。 (保護者) Aの気持ちや言いたいことをわかってあげたい。	Aさんの言葉や行動の背景にある思いや要求をくみ取れるように働きかける。	6か月	児童発達支援 14日/月 プレ幼稚園 1日/週 相談支援事業 随時	提供事業者名 (担当者名・電話) 〇〇幼稚園 担当:〇〇〇〇 連絡先:〇〇〇〇 児童発達支援事業所〇〇 担当:〇〇〇〇 連絡先:〇〇〇〇 相談室〇〇 担当:〇〇〇〇 連絡先:〇〇〇〇	(Aさんの役割) 知っている数字や動物を、たくさん話してください。 初めての場所や人に、驚きや緊張、どうしたら良いかわからないこともあると思います。周りの大人が、どんな場所で何が始まるのかなどを伝えます。また、Aさんの気持ちも知ることができるよう、気持ちの代弁をしていきます。 (保護者の役割) Aさんとお姉さんのことで気になることや不安があれば、遠慮なく、周囲の支援者に伝えてください。	6か月	<ul style="list-style-type: none"> ・Aさんなりの意思表示や発信があるようです。その意欲を支持し、発達課題を理解した上で、Aさんが望ましい行動を学び、身につけられるような関わりをお願いします。 ・母は親子通所を希望していますが、その対応が難しい場合でも、Aさんへの理解が深められるような支援をお願いします。 ・保護者の関わりが発達支援にいかされるよう、家庭との連携がスムーズにできるような配慮も検討してください。 ・他の保護者との交流、父への子育て支援のほか、姉への不安にも寄り添う支援もお願いします。
2	(Aさん) たたいたり、髪を引っ張ったり、頭打ちを起こさずに過ごせるようになりたい。 (保護者) かんしゃくを起こさないで過ごせる方法を知りたい。	Aさんの思いや要求をくみ取りながら活動する。						
3	(Aさん) 好きなこと、興味のあることをやりたい。 (保護者) いろいろなあそびの経験を積んでいきたい。	親子でいろいろなあそびを経験していく。						
4	(保護者) 自閉スペクトラム症と言われてもよくわからないし、幼稚園に行けるのか心配。姉のことも心配。	Aさんを理解するための情報提供や幼稚園との連携を行う。保護者が小さなことでも相談できるような関係を保つ。						

サービス等利用計画・障害児支援利用計画(計画様式2-3)

◎週間計画表

	月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の行動					
4:00								<ul style="list-style-type: none"> ・週3回児童発達支援 ・プレ幼稚園では、自由遊びが中心。子どもが少ない隔っことで過ごしていることが多い。 ・普段は公園に行くことが多い。遊具で遊ばず、石を並べることや、停めてある自転車のタイヤの向きをそろえて過ごす。体を動かす活動は消極的。 ・ブロックや電車のおもちゃ、数字、動物が好き。 ・週末は家族で公園や買い物をして過ごしている。 ・昼寝をする時としない時がある。 週単位以外のサービス ・〇〇病院受診(不定期) 					
5:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝						
6:00													
7:00	起床、身支度、朝食など	起床、身支度、朝食など	起床、身支度、朝食など	起床、身支度、朝食など	起床、身支度、朝食など	起床、身支度、朝食など	起床、身支度、朝食など						
8:00													
9:00	自由時間	児童発達支援	自由時間	児童発達支援	児童発達支援	自由時間	自由時間						
10:00			プレ幼稚園						自由時間	自由時間			
11:00	昼食		昼食			昼食	昼食		昼食	昼食			
12:00													
13:00	自由時間	帰宅後自由時間	自由時間	帰宅後自由時間	帰宅後自由時間	自由時間	自由時間						
14:00													
15:00													
16:00													
17:00													
18:00	夕食、入浴、自由時間	夕食、入浴、自由時間	夕食、入浴、自由時間	夕食、入浴、自由時間	夕食、入浴、自由時間	夕食、入浴、自由時間	夕食、入浴、自由時間						
19:00													
20:00													
21:00													
22:00													
23:00													
0:00													
1:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝						
2:00													
3:00													
4:00													

サービス提供によって実現する生活の全体像	Aさんは、児童発達支援での経験や体験を通して充実して過ごすことができる。家族は、通所を通して、Aさんに対する理解を深めつつ、保護者仲間との出会いや育ちあいにより、姉弟の子育ての自信へとつなげることができる。
----------------------	---